

新型コロナウイルス感染防止策の徹底のお願い

福島県内でもクラスターが発生し、県内では現在38名の感染者が出ています。8日からの2度目の臨時休業となりましたが先週渡した課題は順調に進んでいますか？また、HPには、学習サイトのリンクを載せましたので、自分で興味のあるものを見つけて、新しい教科書についても、どんどん自分で進めてみてください。

家庭では、次の感染予防対策をしっかりと毎日行い、学校再開に向け、健康管理のための生活習慣の確立に努めてください。

1 毎日の検温の徹底

朝（本来であれば登校前）、必ず検温し「検温チェック票」に記録をお願いします。その際、家族についても検温を実施する習慣がつけばいいですね。家族の方も、仕事によっては不特定多数の人と接触があるかもしれないので、健康管理上、一緒に検温してみてください。

2 かぜ様症状の場合の積極的休養

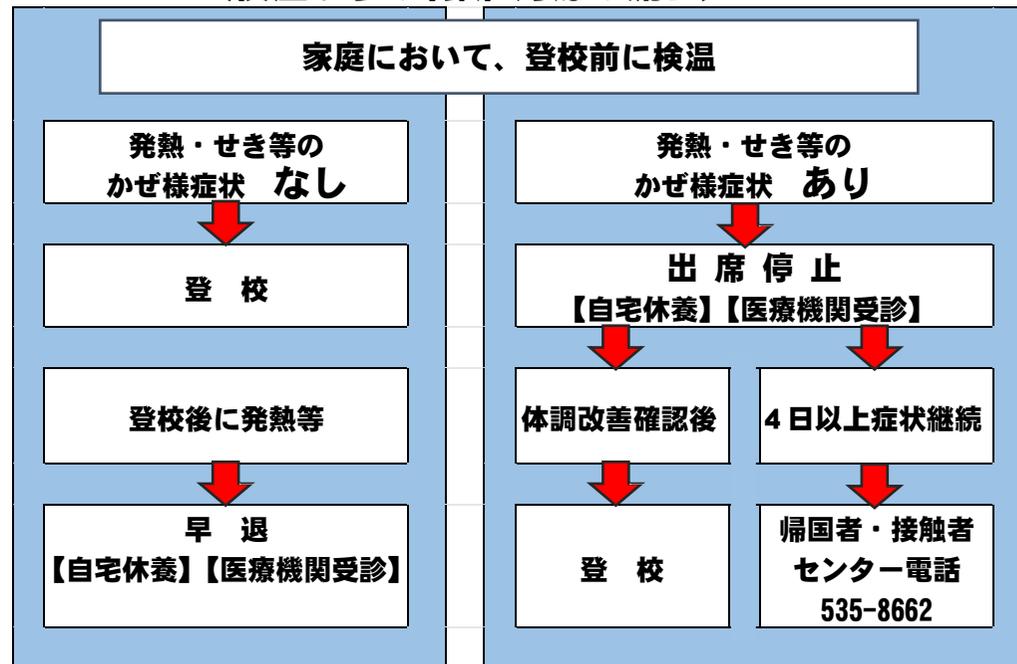
発熱またはせき等のかぜ様症状がある場合には、無理をせず休養し、するようお願いします。（学校再開後であればお休みしてください）

→ 症状が出た後の検温・健康観察の継続と相談

かぜ様症状が出た場合には、検温と健康観察を継続し、そうした症状が4日間続いている場合には「帰国者・接触者相談センター」を連絡するようお願いいたします。その際には学校にも連絡をお願いいたします

※ 学校再開後に上記2や3に該当し自宅休養や通院等となった場合は出席停止として扱い、欠席になりません。

<検温からの判断・対応の流れ>



感染は、感染者の口から飛沫が飛び、飛沫の中のウイルスが直接、または手などを通して他の人の口・目・鼻に入ることによって起こります。また、飛び散った飛沫内のウイルスは、湿気があると、その場所に長くて2～3日留まります。その防止のため学校においては、

- 生徒・教員は、全員が飛沫を飛ばさないようにマスク着用を徹底します
- 席の間はできる限り、前後左右に距離を取ります
- 換気により風を通して乾燥を促進し、飛沫内のウイルスの死滅を早めます
- 手で触れやすい場所【机、椅子、ドアや窓枠の取っ手、ロッカー前面、ロッカー上板、配膳台、黒板消し、トイレのレバー等窓】を消毒します
- 手洗い・うがいをこまめに行います

福島市の保健所所長さんは「物に触れたら手を洗う、顔に触る前に手を洗う」ことが大切だとおっしゃっていました。